

平成 20 年度附属図書館活動報告書

東京大学附属図書館

目 次

	ページ
1. 平成 20 年度の特記事項	
1.1 総合図書館再建 80 周年式典	1
1.2 総合図書館大規模改修案の策定	2
1.3 全学学生用図書費の新設	
1.4 UT Repository (東京大学学術機関リポジトリ) 収録件数が1万件突破	
2. 貸出閲覧サービス	
2.1 開館時間の変更・延長	3
2.2 文献複写料金の改定	4
2.3 学務システムとの連携により、図書館利用申請手続きを省略	
2.4 イェール大学との相互訪問利用協定	
3. ガイダンス、広報	
3.1 オープンキャンパス 2008 (総合図書館)	5
3.2 柏キャンパス一般公開 (柏図書館)	
3.2 図書館オリエンテーション	
3.3 催し物: 展示会、講演会、映画上映会、コンサート	6
4. 資料の整理	
4.1 柏図書館自動化書庫への雑誌移管	7
4.2 鷗外文庫の電子化事業	8
4.3 所蔵資料の電子化	
4.4 目録データの遡及入力事業	
5. 資料の収集	
5.1 図書: 全学資料購入集中処理の拡大	9
5.2 雑誌: 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の契約を継続、事務集約化	
5.3 大型コレクション	
5.4 永原慶二先生旧蔵図書の利活用	10
6. 施設の整備	
6.1 耐震工事	11
6.2 蛍光灯の省エネ化	
7. 業務管理	
7.1 学生・院生の図書館活動への参加: ジュニア TA の活用	11
7.2 地域連携 (柏図書館)	
7.3 職員研修	12

8.	年間活動表	
8.1	平成 20 年度図書館活動日誌	13
8.2	平成 20 年度附属図書館会議開催一覧	14

全図書館室統計

1.	職員数、蔵書数、利用件数	s1
2.	経年変化	s2
2.1	蔵書数	
2.2	所蔵雑誌種類数	
2.3	資料費総額	
2.4	入館者数(延人数)	s3
2.5	館外貸出冊数	
2.6	東京大学 OPAC 利用統計	
2.7	附属図書館ホームページ利用統計	

1. 平成 20 年度の特記事項

1.1 総合図書館再建 80 周年式典

総合図書館は、関東大震災による全焼の後、平成 20 年が再建 80 周年に当たる(昭和 3 年(1928 年)に再建)。これを記念して、開館記念日の 12 月 1 日に以下の式典を執り行った。

(1) 記念プレート除幕式

80 周年を機に、再建の由来を永く伝えるため、総合図書館正面玄関脇に記念プレートを設置した。記念プレートには、ジョン・ロックフェラー Jr. 氏からの寄付金や国内外からの図書の寄贈など再建の経緯を記し、支援に対する感謝の意を表した。

除幕式では、小宮山宏総長の祝辞の後、総長と西郷和彦館長により記念プレートが披露された。



設置された記念プレートと
小宮山総長 (右)、西郷館長 (左)

(2) 式典及び記念講演会

除幕式に続いて、3 階大会議室に会場を移して式典及び記念講演会を開催した。

西郷館長の式辞に続いて高橋宏志理事と元図書館長の落合卓四郎先生(日本体育大学長)による祝辞の後、岸田省吾教授(大学院工学系研究科建築学専攻、工学部建築設計室)による講演が行われ、総合図書館再建当時の設計構想が解説された。



本郷キャンパスの建物配置図を示して
解説する岸田教授

(3) 常設展

3 階ホールでは式典に合わせて常設展「内田祥三と図書館再建 80 年」を開催し、総合図書館の設計図案や、再建当時の大学新聞などを展示して、往時の様子を紹介した(会期は 11 月 28 日～平成 21 年 4 月 22 日)。



1.2 総合図書館大規模改修案の策定

総合図書館は再建の後に2度(1964年、1987年)の改修を重ね、その時々々の環境の変化に対応してきた。前回の改修から20年が過ぎ、現代のニーズに即した、最新の学習・教育・研究をサポートするに足る新たな図書館へ改修する必要性が生じている。

そこで、館内にプロジェクトチームを設置し、(1)閲覧スペースのアメニティの向上、(2)資料へのアクセス環境の改善、(3)資料収容能力の大幅な強化、(4)事務・作業スペースの環境整備等を課題として大規模改修に向けた調査検討を重ね、「総合図書館大規模改修案」を取りまとめた。

この改修案は、第388回図書行政商議会(11月17日)に報告され、平成22年度の概算要求事項とすることが了承された。

1.3 全学学生用図書費の新設

学内の賛同を得て、平成20年度から学習基盤整備のための全学学生用図書費5,000万円が恒常的に措置されることになり、総合・駒場・柏図書館に配分された。従来は総長裁量経費などによって整備してきたが、今後は安定的に資料整備を図ることができるようになった。

なお、選書に際しては、総合図書館ではジュニアTA制度を利用した選書枠を拡大し、約1,900冊(学生用図書全体の27%)を学生自身が選書した。

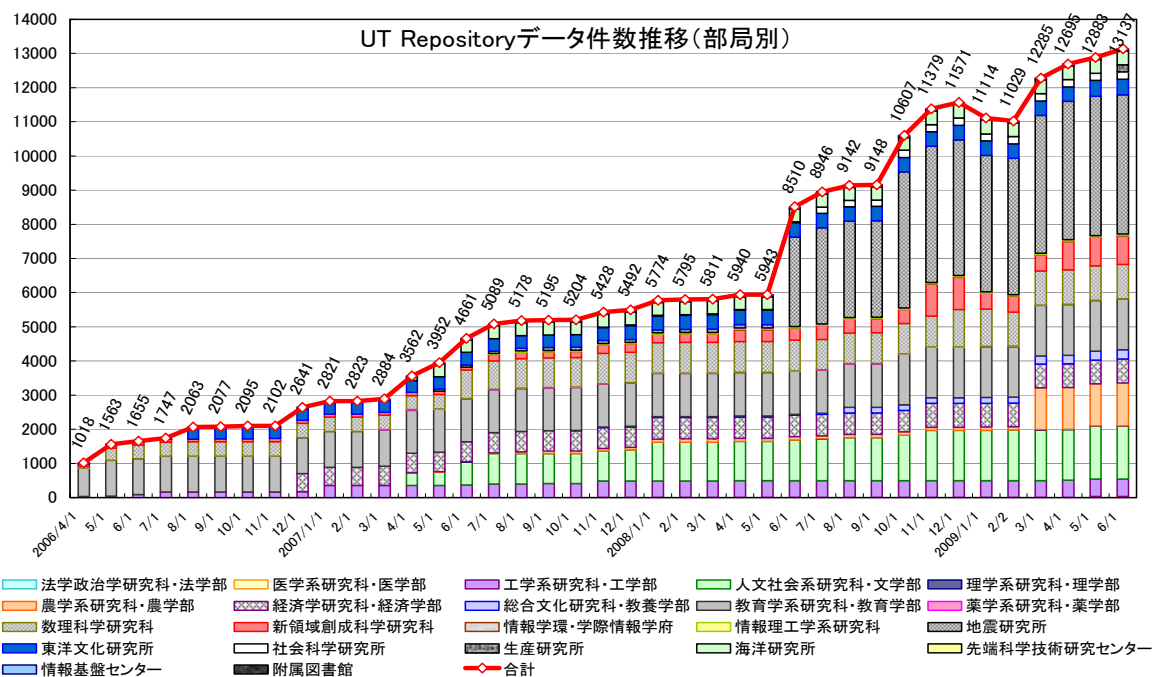
平成20年度	執行経費			購入冊数
	学生用図書経費	その他	合計	
総合図書館	2,000 万円	1,372 万円	3,372 万円	6,931 冊
駒場図書館	2,000 万円	1,880 万円	3,880 万円	9,082 冊
柏図書館	1,000 万円	807 万円	1,807 万円	3,458 冊
合計	5,000 万円	4,059 万円	9,059 万円	19,471 冊

1.4 UT Repository (東京大学学術機関リポジトリ) 収録件数が1万件突破

学位論文(特に博士論文)の収録拡充に向けて、すべての大学院研究科の学位論文事務担当部署を訪問し、学術機関リポジトリの趣旨説明を行った(教員に対する説明は、西郷館長が各部署の教授会等において平成18年度末から19年度に実施した)。その結果、新たに12研究科において学位論文の電子化公開許諾を含む収録事務手続きが整備された。

また紀要論文については、平成19年度に開発した目次機能(紀要を巻号単位で表示可能)を生かした公開紀要一覧ページを用意し、利便性の向上を図った。既存収録誌に新刊巻号を追加したほか、新たに9誌を収録して43誌を公開中である(3月末現在)。





UT Repository（東京大学学術機関リポジトリ）の論文総収録数は昨年度比倍増の12,695件（平成21年3月末現在。前年同期5,940件）、利用者数は2.3倍増の年間206,667名（昨年度90,487名）となっている。

2. 貸出閲覧サービス

2.1 開館時間の変更・延長

(1) 総合図書館

8月の平日夜間の開館時間を延長し、秋季に試験を控える学生・院生へのサービス向上を図った。時間延長に伴う経費増は、利用が最も少ない3月の閉館時間を繰り上げることで調整した。

8月は2時間延長（今年度）8:30～21:00（昨年度）8:30～19:00

3月は1.5時間短縮（今年度）8:30～21:00（昨年度）8:30～22:30

(2) 工学・情報理工学図書館

グループ制を活かして各図書室のサービス体制を調整し、閉室日・閉室時間の縮減を図った。従来は、職員数の少ない図書室では、窓口担当者が研修や会議等のため不在になる場合には、図書室を一時閉室せざるを得なかったが、平成20年度に利用規則や業務マニュアルの統一化を進めたことにより、他の図書室から代理要員を充てることが可能となり、サービスを維持できるようになった。

このほか、工2号館図書室では、12月22日から夜間開室を開始し、平日の開室時間9:30～17:30を9:30～19:00に延長した。

また、工14号館図書室では、まちづくり大学院（社会人向け修士課程）の教育研究に対応するため、11月から土曜日の開室を開始した。開室時間は10:00～13:00である。

(3) 駒場図書館・総合文化研究科図書館

3月の専門試験期間に合わせて、土・日開館及び開館時間の延長を開始した。

従来は冬学期試験終了日(平成20年度は2月13日)の後は土・日は閉館していたが、平成20年度から、冬学期試験終了日以降、専門科目試験終了前日(平成20年度は3月8日)まで、土・日も開館することにした。開館時間は、10:00から19:00である。

また、この期間は平日の夜間開館も同様に延長することとし、従来は17:00に閉館していたところを、専門科目試験終了前日まで3時間延長して20:00まで開館することにした。

2.2 文献複写料金の改定

国立大学法人化に際して、本学は平成16年4月1日から「東京大学附属図書館文献複写等料金規則」を改正し、文献複写料金に送付手数料(1件100円)を徴収してきた。しかし他の多くの大学は法人化後も料金を据え置いているため、「相互利用」の観点から再検討を行った。

その結果、平成20年4月1日から同規則を改正し、送付手数料の徴収を当面廃止することにした。文献複写料金の改定の後、受付件数は以下のとおり増加に転じている。

平成17年	21,323件
平成18年	18,381件
平成19年	14,721件
平成20年	18,691件

2.3 学務システムとの連携により、図書館利用申請手続きを省略

本部の学務システムと図書館システムとの連携を9月から開始し、後期課程学生及び大学院生の所属や連絡先等のデータを図書館システムに取り込むこととした。このことにより、学生・院生は従来の図書館利用登録手続き(申請・更新)の完了を待つことなく図書館を直ちに利用できるようになり、利便性が向上した。

なお、駒場キャンパスの前期課程学生については、従来から教養学部の学務システムと連携してデータの取り込みを実施している。

2.4 イェール大学との相互訪問利用協定

双方の教員と大学院生が相手大学の図書館で閲覧・貸出を可能とするため、「東京大学とイェール大学との間における図書館訪問利用の試行に関する協定書」を締結し、平成20年1月から9月までサービスの試行を実施した。平成21年度からは、「東京大学附属図書館とイェール大学図書館との間における図書館訪問利用に関する覚書」の締結により、本格的に実施する予定である。

また、イェール大学は夏季に学生交流プログラム(サマーセッションプログラム)を実施しており、東京大学では平成19年度から学生を受け入れている(窓口:国際系学生交流企画グループ)。総合図書館では、その期間(平成20年度は7月7日~8月8日)、来日中のイェール大学の学生が貸出・閲覧等の図書館利用ができるようにした。利用案内については、昨年担当窓口によってプログラム全体のオリエンテーションが実施されているが、7月8日に図書館利用のオリエンテーションを別途実施し、交流学生への周知を改善した。

3. ガイダンス、広報

3.1 オープンキャンパス 2008（総合図書館）

7月31日に開催されたオープンキャンパス2008に、総合図書館は「参加自由企画」として参加し、館内見学のために閲覧室を公開した。見学者は3,245名であった（昨年3,322名、一昨年2,775名）。

館内の見学コースでは、館員が要所に立って施設説明を行い、参加した高校生等に豊富な蔵書や様々な図書館サービスを案内し、好評であった。

3.2 柏キャンパス一般公開（柏図書館）

10月24日～25日に柏キャンパスの一般公開が行われ、2日間で2,952名の入場者があった。柏図書館では以下の3件の企画を実施し、延べ1,175名の入館者があった。

(1) 特別講演会及びDVD上映会「『センス・オブ・ワンダー』をみて環境問題を考えよう」

24日に福田健二教授（自然環境学専攻）による講演「レイチェルカーソンの時代と私たちの身近な自然」と、DVD「センス・オブ・ワンダー」の上映（2回）を行い、49名の参加があった。この企画は、新領域創成科学研究科との共催企画である。

(2) 特別展示「平賀譲文書展」

1階コミュニティサロンで開催し、上記企画参加者や、25日に1階メディアホールで開催された特別講演会の参加者が自由に見学できるようにした。この特別展示は同時期にそれぞれ企画展等を実施した柏市内4大学の図書館及び柏市立図書館との共同企画展であり、期間は10月21日～27日とした。

(3) 展示「ジュニアTAの院生による推薦図書展」

平成19年度にジュニアTAが選書した図書のうち21点と選書図書リストを2階閲覧室入口に展示した。期間中は閲覧室も公開し、315名の見学者があった。

3.2 図書館オリエンテーション

今年度は、新規利用者等を対象に以下の説明会を実施した。内容は、(1) 図書館利用案内、(2) 書庫案内、(3) 蔵書検索入門などである。

また、留学生については昨年度に引き続き、各研究科で留学生オリエンテーションを実施する部署と連携し、日本語または英語によるガイダンスを実施した。

(1) 総合図書館

期間等	参加者数
4月8日～23日	日本語コース7回、英語コース2回、計215名
春季 留学生オリエンテーション	人文・工の留学生 計33名
秋季 留学生オリエンテーション	人文・工・法・農・情報学環及び自由参加の留学生 計83名

(2) 駒場図書館

期間等	参加者数
4月16日～6月9日	教養学部の授業に参加して36回、計821名
5月15日～30日	講習会形式で5回、計20名
10月28日	教養学部の授業に参加して1回、16名
テーマ別ガイダンス	講習会形式で17回、計65名

(3) 柏図書館

期間等	参加者数
4月14日～25日	計26名
4月18日、21日	新領域の留学生 計69名
春季 専攻別ガイダンス	新領域の1系及び3専攻 計435名
10月8日～17日	計6名
10月10日	新領域の留学生 計50名
秋期 専攻別ガイダンス	新領域の1系 計60名

3.3 催し物：

展示会、講演会、映画上映会、 コンサート

今年度は、以下の展示会・講演会等を実施した。
11月15日のホームカミングデイには、開催中の特別展示会「かわら版・鯰絵にみる江戸・明治の災害情報」に1日で200名を越す見学者があり、好評であった。

なお、展示の内容は、図書館ホームページの「電子展示」ページに蓄積し、常時公開している。
(<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/tenjikai/>)



(1) 展示会・講演会

期間	テーマ等	来訪者数
平成19年 12月21日 ～平成20年 4月23日	常設展示「鴟外と地図－東京大学総合図書館鴟外文庫より」(総合図書館3階ホール)	
4月18日	サイエンスカフェ(柏図書館コミュニティサロン)	27名
5月9日 ～5月27日	国際資料室展示「食の安全を求めて～日本とEUのスタンダード～〈食品表示〉と〈遺伝子組換え食品〉」(総合図書館3階ホール、駐日欧州委員会代表部の後援による)	

6月27日 ～10月22日	常設展示「所蔵資料でたどる 点描 源氏物語の 一千年」(総合図書館 3階ホール)	
10月21日 ～10月27日	特別展示「平賀讓文書展」(柏図書館 1階コミュ ニティサロン)	107名
10月24日	柏キャンパス一般公開 特別講演会「『センス・オブ・ ワンダー』をみて環境問題を考えよう」(柏図書館 メディアホール)	49名
10月24日 ～11月26日	平成20年度特別展示会「かわら版・鯉絵にみる 江戸・明治の災害情報ー石本コレクションから」 (総合図書館 3階ホール)	約1,400名
11月5日	同 記念講演会(北原糸子神奈川大学教授) (総合図書館 3階大会議室)	約100名
11月28日 ～平成21年 4月22日	常設展示「内田祥三と図書館再建 80年」(総合 図書館 3階ホール)	

(2) 映画上映会、コンサート

期 間	テ ー マ 等	来訪者数
4月25日	第4回映画上映会「亀も空を飛ぶ」(柏図書館メ ディアホール)	22名
6月20日	第2回わくわくミニコンサート(柏図書館メディアホ ール)	約160名
8月4日 ～8月8日	ナショナルジオグラフィック連続上映会(柏図書館 メディアホール)	延べ108名
12月22日	第3回わくわくミニコンサート(柏図書館メディアプ ロムナード)	約230名
平成21年 2月27日	第5回映画上映会「グッバイ、レーニン！」(柏図 書館メディアホール)	60名

(3) 資料貸付

期 間	テ ー マ 等	来訪者数
3月28日 ～5月23日	展示「『平賀讓とその時代』展——高生から東大 総長へ」(東京大学駒場博物館)	平賀文書 (柏図書館 所蔵)
12月17日 ～平成21年 2月2日	展示「一戦艦大和への道をひらいた東大総長— 軍艦設計の天才 平賀讓」(呉市海事歴史科学 館大和ミュージアム)	平賀文書 (柏図書館 所蔵)

4. 資料の整理

4.1 柏図書館自動化書庫への雑誌移管

5月に雑誌移管担当者向けのホームページを立ち上げて移管元部局担当者へ作業手順や進捗状況、Q&Aなどを掲載し、情報の共有化を図った。各部局と調整の結果、平成20年度は総合図書館から22,472冊のほか、医学部、工学部情報理工、理学部、教育学部、医科研、海洋研から自然科学系雑誌のバックナンバー計約39,000冊が平成21年2月に移

管された。

自動化書庫には、平成 20 年度末現在で 292,000 冊を収納した。移管元の各図書館室では資料保管スペースに余裕が生まれる一方、利用者の求めに応じて複写物を電子的に配送する e-DDS サービスを運用しており、資料の迅速な提供を行っている。

4.2 鷗外文庫の電子化事業

鷗外文庫は、平成 17 年度と 18 年度は科学研究費補助金(研究成果公開促進費)、19 年度からは総合図書館の予算により、目録データ作成と自筆写本・書入本の電子化を行ってきた。平成 20 年度は、全学遡及入力事業の一環として業者委託により和書 1,895 冊を整理し、鷗外文庫全点の目録データ作成を完了した。

また、情報基盤センター図書館電子化部門の協力により、「鷗外文庫書入本画像データベース」に 49 点の資料を追加公開した。

4.3 所蔵資料の電子化

情報基盤センター図書館電子化部門の協力により、図書館所蔵資料のうち、以下の 2 点を電子化し公開した。

(1)「地震火災版画張交帖」(12 月 22 日公開)

石本巳四雄・元地震研究所長が収集したかわら版・錦絵等約 500 点を、折帖形式 11 冊にまとめたものである。これは好評を博した特別展示会「かわら版・鯀絵にみる江戸・明治の災害情報」(平成 20 年 10 月 24 日～11 月 26 日開催)に展示された資料のうち、主要部分を占めるものである。



(2)「直江状」(平成 21 年 4 月 1 日公開)

上杉家の重臣・直江兼続が記したとされる書状である。原本は発見されておらず、複数種類の写しが伝わっているが、当館所蔵のものは承応 3 (1654) 年に刊行されたものである。



4.4 目録データの遡及入力事業

附属図書館では、全学の図書について遡及的に目録データを入力することによって、オンラインで検索できるようにする事業を実施してきた。

平成 20 年度は第二期全学遡及入力計画(10 年計画)の第 4 年次にあたり、入力継続中の総合図書館及び 3 部局(法、工、農)の図書館室に新たに駒場図書館が加わり、計 5 部局 8 館室を対象とし、7 万冊の入力目標に対して合計約 79,600 冊の遡及入力を行った。これらのうち、総合図書館の鷗外文庫、工 2 号館図書室(ただし書庫分は除く)、工 5 号館図書室、農学生命科学図書館、及び駒場英語部会図書室については、作業を完了した。

5. 資料の収集

5.1 図書：全学資料購入集中処理の拡大

平成 20 年 10 月から処理対象を拡大(第 2 ステージの開始)し、各部局の会計担当で購入している図書(消耗品)についても集中処理の枠組みに含めることとし、同じ特別割引価格が適用されるように改善した。このことにより、平成 20 年度の集中処理全体の取扱総額は約 3 億 5 千万円となり、節約額は 1 千 6 百万円となった。

なお、昨年度までは節約額の一部を学生用図書購入の原資としていたが、平成 20 年度から新たに全学学生用図書費が恒常的に措置されたため、調達の効率化の一環として本部・全学共通経費に充当した。

(単位千円)

	購入冊数	購入金額	節約額
第 1 ステージ(図書館室)	42,473 冊	282,288	13,172
第 2 ステージ(会計担当)	1,667 冊	71,716	3,412
合計	44,140 冊	354,004	16,584

図書購入の全体の傾向としては、購入予算は減少傾向が続いているが、平成 20 年度の購入冊数は大幅に増加している。学生用図書費の新設によって図書購入が増加したこと、「ハンス・ウルリッヒ・ヴェーラ文庫」など大量の図書を含む大型コレクションを購入したこと(約 1,800 冊)が、購入冊数増に寄与している。

(単位千円)

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
購入冊数	64,646	66,435	70,639	66,397	73,070
購入金額	584,124	526,508	520,232	473,625	457,041

5.2 雑誌：全学共通経費による基盤的学術雑誌等の契約を継続、事務集約化

平成 18 年度に新たな学内施策として合意された「全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備の基本方針」に基づき、平成 19 年度から全学共通経費による購入雑誌等の事務処理を総合図書館が一括して執行している。平成 20 年度は、学術雑誌約 8,800 タイトル(国内及び外国雑誌)、電子ジャーナル約 8,100 タイトル、データベース 58 点を契約したほか、全学一括による契約交渉の中で国内誌の納入者を約 400 から 250 に集約し、学内の契約・支払業務の効率化を推進した。

外国雑誌の価格問題に関しては、平成 20 年度は相対的に円高傾向になったために、平成 21 年度の外国雑誌・電子ジャーナルの予約購読額の上昇を抑制することができた。しかし、版元定価の値上がりは続いており、問題は解決されていない。平成 21 年度には全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備のための制度、並びに収集タイトルを見直すことが予定されており、これに向けて検討を開始した。

5.3 大型コレクション

全学共通経費の大型コレクション収集枠を利用して、次の資料を整備した。

- (1) ハンス・ウルリッヒ・ヴェーラ文庫
- (2) 日露戦争関連書 コレクション
- (3) House of Commons Parliamentary Papers Online 1801-2005

(英国下院議会資料データベース)

また、平成 21 年 4 月からオンライン利用を開始する下記の資料の契約準備を行った。

(1) Early English Books Online (初期英語書籍集成データベース)

(2) Congressional Research Digital Collection (CRDC) LexisNexis Congressional

(米国議会委員会資料及び議会調査局報告書データベース)

5.4 永原慶二先生旧蔵図書の利活用

寄贈を受けたが重複のため受入を保留していた永原慶二先生旧蔵図書約 2,000 冊について、ご遺族の同意を得て、財団法人日本科学協会の教育・研究図書有効プロジェクトを通じて清華大学、中国社会科学院などに寄贈した。

永原先生(1922 - 2004)は、1944年に東京帝国大学国史学科を卒業、史料編纂所にて「大日本史料」第三編の編纂に携わった後に1958年から一橋大学に移り1963年から1986年まで一橋大学教授であった。

6. 施設の整備

6.1 耐震工事

平成 20 年度は、以下の図書館室で耐震補強・改修工事を実施した。工事期間中も図書館サービスが中断することのないように別のスペースを確保したり、柏図書館の自動化書庫に資料を一時退避させるなど、様々な工夫を行った。

医学図書館

工学・情報理工学図書館 工 7 号館図書室 (年度末時点で工事中)

理学系研究科・理学部図書室 生物化学図書室

農学生命科学図書館

東洋文化研究所図書室

社会科学研究所図書室 (年度末時点で工事中)

史料編纂所図書室 (年度末時点で工事中)

6.2 蛍光灯の省エネ化

「東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクト(TSCP)」により、総合図書館内の蛍光灯を省エネタイプのものへ切り替える工事を実施した。工事時期は、キャンパス全体の工期の中で調整し、12月から3月にかけて図書館の休館日等に集中的に実施し、図書館サービスに支障が出ないように配慮した。

7. 業務管理

7.1 学生・院生の図書館活動への参加：ジュニア TA の活用

(1) 総合図書館

東京大学ジュニア TA 制度奨励費から 100 万円の配分を受け、3 つのグループに分けて業務を実施した。

- a. 「書架整理・返本・学習用図書の選書」グループ(3 期 19 名)
- b. 大学院生対象の「学習用図書の選書」グループ(4 名)
- c. 「中国語未製本雑誌の整理」グループ(留学生 2 名)

このうち、c.「中国語未製本雑誌の整理」業務は、平成 19 年度のハングル雑誌に引き続いて実施したものである。中国語未製本誌の誌名や出版社などの情報がリスト化され、受入及び目録作業をスムーズに進めるための準備を整えることができた。

(2) 駒場図書館

教養学部の授業に参加するかたちで開催した図書館オリエンテーションにおいて、図書館ツアー及び検索実習の補助のためジュニア TA の協力を得た。

(3) 柏図書館

7名のジュニア TA により、柏図書館にふさわしい洋書・和書の選書、及びブックガイドの作成を実施した。選定した図書のうち、平成 20 年度は和書 344 冊、洋書 114 冊を購入した。なお、平成 19 年度に選定したリストとブックガイドを柏図書館ホームページに掲載し、平成 20 年 10 月の柏キャンパス一般公開に合わせて選定図書の展示を行った。

7.2 地域連携（柏図書館）

(1) 柏市内 4 大学図書館意見交換会、合同企画展示

柏市立図書館からの呼びかけにより 7 月 18 日に開催された柏市内 4 大学図書館の意見交換会に参加した(柏図書館のほか、日本橋学館大学、二松学舎大学、麗澤大学の 3 大学図書館が参加)。平成 20 年度の合同企画展として、10 月下旬～11 月に各館で貴重資料展や関連講演会が開催された。

このほか、隣接する東葛テクノプラザや東大柏ベンチャープラザの担当者と、柏図書館の利用について意見交換を行った。

(2) 柏図書館友の会設立

柏図書館の地域貢献等の活動支援や、会員相互および柏図書館職員との交流の促進を図ることを目的として、10 月 1 日に「柏図書館友の会」が発足した。友の会の活動は柏図書館振興事業への支援、会員の親交を図る各種行事の企画運営、友の会ニュースの編集発行である。

友の会には学外者も入会することができ、会員になると柏図書館の開架図書の館外貸出、1階施設の利用ができるようになるほか、映画上映会やコンサート等の案内が届けられる。

7.3 職員研修

附属図書館研修プログラムとして、以下の図書館職員研修会を全学的に実施した。

「研究活動の実際を知る」と題した12月と3月の2件は、今年度から初めて取り組んだテーマである。12月は人文・社会・自然の3分野の先生方から、研究の具体的な進め方や学術情報の活用場面について講演をいただき、今後の図書館業務遂行において有意義な研修会であった。3月には第2弾として工学系研究室の訪問見学を実施し、実験の設備や実験の様子を拝見しながら研究活動の説明を受けると共に、大学院生との懇談の場を設け、日常の学術情報収集や図書館利用について具体例を聞いた。

開催日	テーマ等	受講者数、会場
7月25日	雑誌購入の現在 講師：館内雑誌担当職員	19名 総合図書館3階大会議室
7月29日	パソコン管理：購入から廃棄まで 講師：館内PC担当職員	7名 総合図書館1階講習会コーナー
11月6日	UT Article Search：リンクサービス の仕組みと使い方について 講師：システム開発業者	24名 総合図書館3階大会議室
11月20日	洋装本の修理製本実習 講師：製本業者	20名 総合図書館3階大会議室
12月15日	研究活動の実際を知る 講師：宮田眞治准教授(文) 谷本雅之教授(経済) 西郷和彦教授(工)	37名 総合図書館3階大会議室
3月13日	研究活動の実際を知る ～2～ 講師：野崎京子教授(工) 鈴木勉教授(工)	14名 野崎研究室(有機金属化学) 鈴木研究室(遺伝子発現工学)

8 年間活動表

8.1 平成 20 年度図書館活動日誌

実施日	活動内容
平成 19 年 12 月 21 日 ～平成 20 年 4 月 23 日	常設展示「鷗外と地図－東京大学総合図書館鷗外文庫より」 (総合図書館 3 階ホール)
平成 20 年 1 月～9 月	イェール大学との図書館相互訪問利用の試行実施
4 月 1 日	文献複写料金改定 (送付手数料の徴収廃止)
4 月	全学学生用図書費の恒常的措置 (5,000 万円)
4 月 8 日～23 日	総合図書館オリエンテーション
4 月 18 日	サイエンスカフェ (柏図書館コミュニティサロン)
4 月 25 日	第 4 回映画上映会「亀も空を飛ぶ」 (柏図書館メディアホール)
5 月 9 日～27 日	国際資料室展示「食の安全を求めて～日本と EU のスタンダード～〈食品表示〉と〈遺伝子組換え食品〉」 (総合図書館 3 階ホール)
6 月 20 日	第 2 回わくわくミニコンサート (柏図書館メディアホール)
6 月 27 日 ～10 月 22 日	常設展示「所蔵資料でたどる 点描 源氏物語の一千年」 (総合図書館 3 階ホール)
7 月 7 日～25 日	図書館業務システム講習会
7 月 25 日	研修プログラム「雑誌購入の現在」
7 月 29 日	研修プログラム「パソコン管理：購入から廃棄まで」
7 月 31 日	オープンキャンパス 2008 (本郷)
8 月 1 日	オープンキャンパス 2008 (駒場)
8 月 4 日～8 日	ナショナルジオグラフィック連続上映会 (柏図書館メディアホール)
9 月	学務システムとの連携による学生データ取込み開始
10 月	UT Repository (東京大学学術機関リポジトリ) 収録件数 1 万件突破
10 月	全学資料購入集中処理「第 2 ステージ」開始、部局の会計担当で購入する図書 (消耗品) を割引対象に追加
10 月 1 日	柏図書館友の会設立
10 月 9 日	図書系初任者研修
10 月 21 日～27 日	特別展示「平賀讓文書展」 (柏図書館 1 階コミュニティサロン)
10 月 24 月 ～25 日	柏キャンパス一般公開 特別講演会・映画上映会 (柏図書館メディアホール)
10 月 24 日 ～11 月 26 日	特別展示「かわら版・鯰絵にみる江戸・明治の災害情報－石本コレクションから」 (総合図書館 3 階ホール)
11 月 5 日	同 記念講演会 (北原糸子神奈川大学教授) (総合図書館 3 階大会議室)
11 月 6 日	研修プログラム「UT Article Search：リンクサービス の仕組みと使い方について」
11 月 20 日	研修プログラム「洋装本の修理製本実習」

11月28日 ～平成21年 4月22日	常設展「内田祥三と図書館再建80年」（総合図書館3階ホール）
12月1日	総合図書館再建80周年記念式典（総合図書館3階大会議室）
12月15日	研修プログラム「研究活動の実際を知る」
12月22日	第3回わくわくミニコンサート（柏図書館メディアプロムナード）
平成21年 2月27日	第5回映画上映会「グッバイ、レーニン！」（柏図書館メディアホール）
3月13日	研修プログラム「研究活動の実際を知る～2～」

8.2 平成20年度附属図書館会議開催一覧

開催日	会議名称
平成20年 4月25日	図書行政商議会（第386回）
5月27日	附属図書館連絡会議
7月3日	附属図書館サービス特別委員会（平成20年度第1回）
7月11日	附属図書館運営委員会（平成20年度第1回）
7月24日	駒場図書館運営委員会（第13回）
7月23日	柏図書館運営委員会（平成20年度第1回）
7月30日	図書行政商議会（第387回）
7月30日	附属図書館連絡会議
9月11日	学術情報電子化専門委員会（平成20年度第1回）
9月30日	附属図書館連絡会議
10月1日	附属図書館サービス特別委員会（平成20年度第2回）
10月27日	附属図書館運営委員会（平成20年度第2回）
11月5日	附属図書館サービス特別委員会（平成20年度第3回）
11月17日	図書行政商議会（第388回）
12月2日	附属図書館連絡会議
12月24日	附属図書館連絡会議
12月25日	駒場図書館運営委員会（第14回）
平成20年 1月21日	附属図書館サービス特別委員会（平成20年度第4回）
2月3日	附属図書館連絡会議
2月23日	附属図書館運営委員会（平成20年度第3回）及び 附属図書館サービス特別委員会（平成20年度第5回） 合同会議
2月24日	総合図書館運営委員会（平成20年度第1回）
3月16日	図書行政商議会（第389回）
3月19日	附属図書館連絡会議
3月24日	柏図書館運営委員会（平成20年度第2回）
3月26日	駒場図書館運営委員会（第15回）

全 図 書 館 室 統 計

1. 職員数、蔵書数、利用件数

大学院法政学政学研究所・法学部研究室	職員数			蔵書数				資料費 総額 (千円)	図 書				受入資料数				館外貸出 (冊)	相互利用 (文献複写)	
	常勤 (人)	非常勤 (人)	図 書		逐次刊行物		合計 (種)		和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	(内購入) (冊)	図 書		逐次刊行物			受 付 (件)	依 頼 (件)
			和書 (冊)	洋書 (冊)	和 文 (種)	欧 文 (種)							和 文 (種)	欧 文 (種)	和 文 (種)	欧 文 (種)			
13	6	246,290	468,377	714,667	1,515	2,024	3,539	73,146	5,287	5,955	11,242	9,669	740	1,247	1,987	1,457	0	578	301
2	3	55,090	802	55,892	7,432	30	7,462	4,502	130	3	133	10	244	1	245	45	0	435	0
10	6	110,801	167,604	278,405	3,331	2,342	5,673	20,158	2,067	2,635	4,702	847	785	622	1,407	775	11,751	4,050	3,257
13	15	152,842	247,999	400,841	3,476	3,578	7,054	17,296	2,788	1,921	4,709	3,968	1,300	844	2,144	1,354	27,368	948	739
8	15	481,673	526,559	1,008,232	6,305	4,013	10,318	91,241	9,255	7,404	16,659	11,178	401	1,221	1,622	1,378	17,701	1,206	1,256
7	9	38,375	191,672	230,047	2,149	4,931	7,080	11,988	861	3,141	4,002	731	837	1,246	2,063	620	10,476	404	232
12	5	224,160	159,119	383,279	6,321	5,380	11,701	61,188	2,193	968	3,161	1,358	1,865	1,653	3,518	1,747	12,517	3,694	919
11	10	441,898	313,700	755,598	10,987	4,645	15,632	38,690	6,583	3,042	9,625	4,294	690	468	1,158	560	35,353	336	239
16	23	506,323	486,118	992,441	1,645	3,348	4,993	69,035	10,084	7,925	18,009	10,196	886	1,604	2,490	1,887	160,788	1,022	2,548
3	3	6,637	63,270	69,907	145	969	1,114	9,147	398	877	1,275	889	74	77	151	74	3,113	0	0
4	3	76,188	56,785	132,973	3,178	1,061	4,239	6,091	6,562	914	7,476	1,160	713	304	1,017	466	14,914	878	668
2	1	10,086	30,779	40,865	200	343	543	730	136	586	722	66	67	90	157	102	1,643	227	449
3	3	13,385	120,295	133,680	154	1,518	1,672	19,611	192	2,161	2,353	988	36	594	630	357	7,885	285	28
3	4	68,298	53,237	121,535	1,396	1,362	2,758	5,002	1,102	453	1,555	508	238	150	388	226	6,313	579	232
2	1	4,379	41,364	45,743	322	964	1,286	2,837	41	631	672	672	16	113	129	104	501	247	273
2	2	18,967	31,994	50,961	1,057	1,032	2,089	2,273	206	412	618	64	440	224	664	149	1,249	184	18
6	6	483,467	175,941	659,408	2,581	3,862	6,443	32,323	5,435	3,897	9,332	7,598	487	823	1,310	630	40	234	32
11	0	197,135	135,155	332,290	4,862	2,761	7,623	23,706	2,773	1,609	4,382	3,270	929	385	1,314	662	4,706	28	36
3	0	62,296	100,281	162,577	1,142	1,502	2,644	4,276	347	472	819	139	436	199	635	200	704	193	590
9	9	494,197	14,760	508,957	2,682	212	2,894	3,470	3,270	138	3,408	511	1,179	37	1,216	100	0	0	9
0	1	874	21,280	22,154	21	214	235	3,317	16	466	482	482	14	62	76	70	178	9	6
2	1	6,446	57,156	63,602	104	630	734	11,950	638	931	1,569	812	44	107	151	133	3,731	189	49
1	2	17,673	35,986	53,659	1,467	1,800	3,267	1,718	6,703	2,546	9,249	50	398	333	731	191	699	553	311
1	0	4,897	4,169	9,066	63	88	151	372	0	0	0	0	8	13	21	21	9	0	0
1	1	4,420	2,127	6,547	2,590	698	3,288	0	497	13	510	0	439	110	549	0	0	6	0
0	2	29	269	298	42	40	82	112	14	2	16	5	21	5	26	2	38	0	2
1	2	16,045	30,477	46,522	69	412	481	1,667	10	37	47	43	21	3	24	24	579	18	271
146	133	3,756,132	3,542,106	7,298,238	65,236	49,759	114,995	52,713	68,758	49,251	118,009	59,940	13,308	12,535	25,843	13,334	322,256	16,303	12,465
42	15	768,503	417,718	1,186,221	11,107	8,858	19,965	67,981	12,464	5,084	17,548	9,774	3,128	835	3,963	304	148,899	1,688	183
5	2	67,025	252,223	319,248	4,280	13,574	17,854	18,732	27,658	15,431	43,089	3,356	16	6	22	19	37,348	700	782
193	150	4,591,660	4,212,047	8,803,707	80,623	72,191	152,814	1,825,643	108,880	69,766	178,646	73,070	16,452	13,376	29,828	13,657	508,503	18,691	13,430

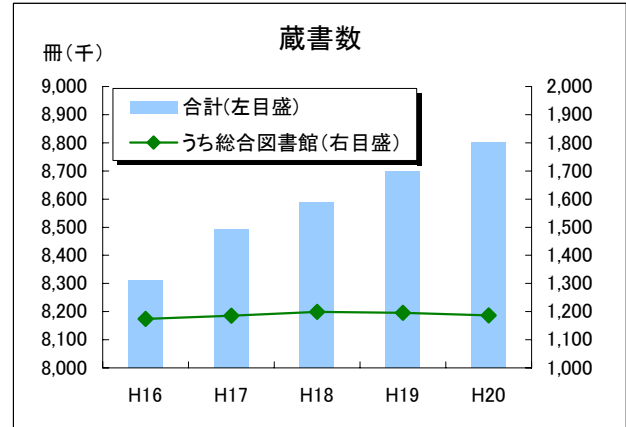
(社)日本図書館協会大学図書館調査より

2 経年変化

2.1 蔵書数

	合計	うち総合図書館
平成16年度	8,309,685	1,174,461
平成17年度	8,492,910	1,184,919
平成18年度	8,586,543	1,199,489
平成19年度	8,699,292	1,196,209
平成20年度	8,803,707	1,186,221

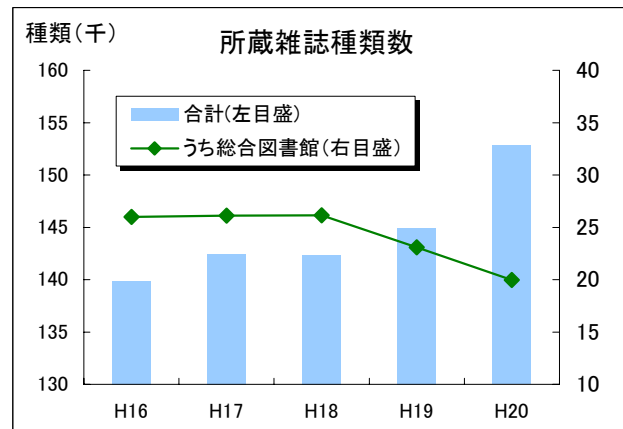
(単位:冊)



2.2 所蔵雑誌種類数

	合計	うち総合図書館
平成16年度	139,866	26,005
平成17年度	142,437	26,114
平成18年度	142,369	26,143
平成19年度	144,962	23,074
平成20年度	152,814	19,965

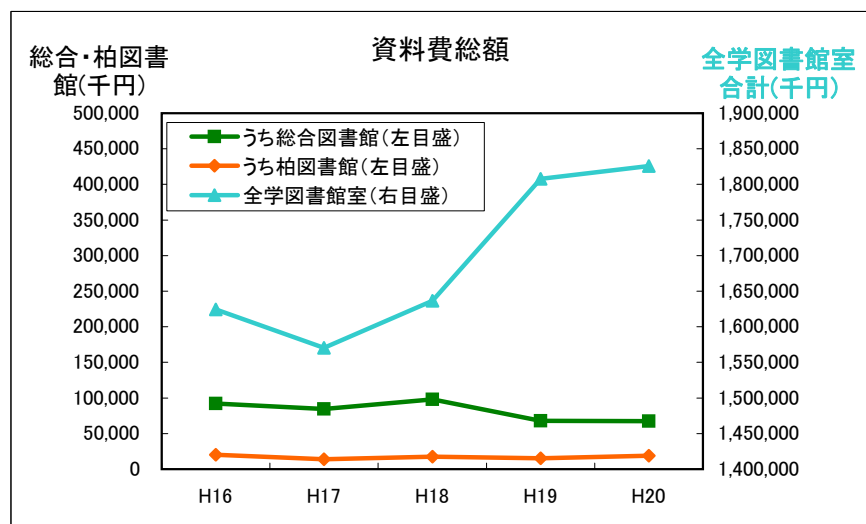
(単位:種類)



2.3 資料費総額

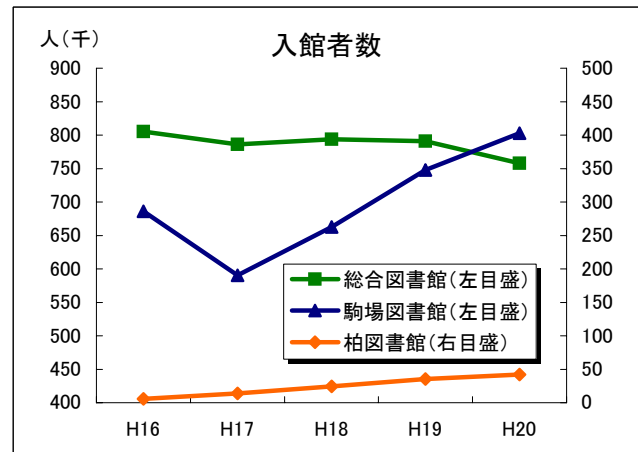
	合計	うち総合図書館	うち柏図書館
平成16年度	1,624,280	91,958	20,412
平成17年度	1,570,300	84,520	14,127
平成18年度	1,636,453	98,034	17,575
平成19年度	1,807,784	68,018	15,340
平成20年度	1,825,643	67,511	18,732

(単位:千円)



2.4 入館者数(延人数)

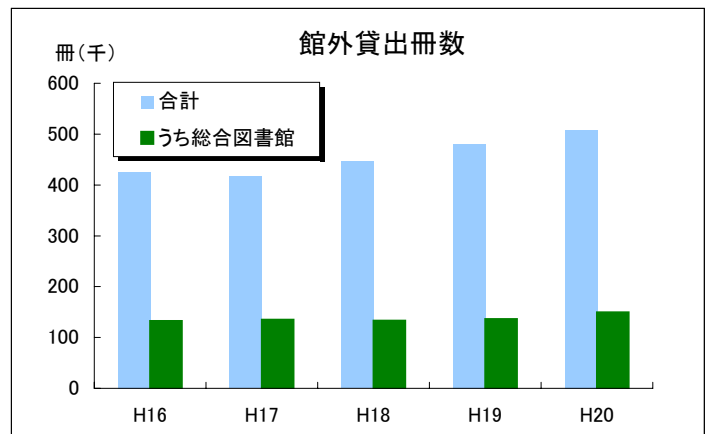
	総合図書館	駒場図書館	柏図書館
平成16年度	805,096	685,965	5,931
平成17年度	786,145	590,620	13,878
平成18年度	793,822	662,831	24,382
平成19年度	790,767	747,774	35,298
平成20年度	758,100	802,746	42,179



2.5 館外貸出冊数

	合計	うち総合図書館
平成16年度	425,683	132,321
平成17年度	416,958	134,736
平成18年度	446,378	132,601
平成19年度	480,162	135,712
平成20年度	508,503	148,899

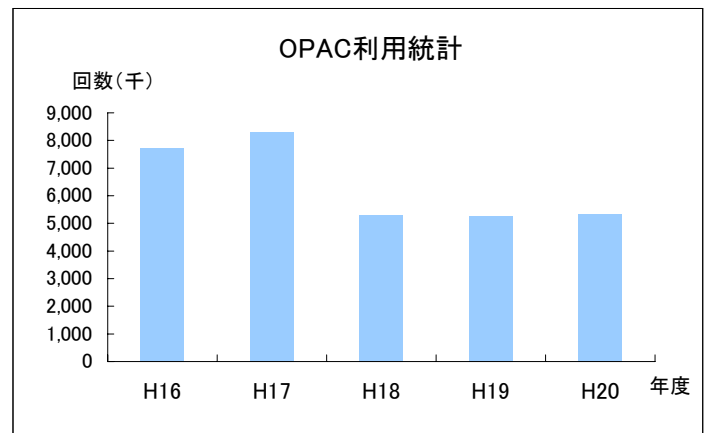
(単位: 冊)



2.6 東京大学OPAC利用統計 (検索実行回数)

	OPAC
平成16年度	7,711,914
平成17年度	8,298,354
平成18年度	5,310,055
平成19年度	5,242,630
平成20年度	5,335,352

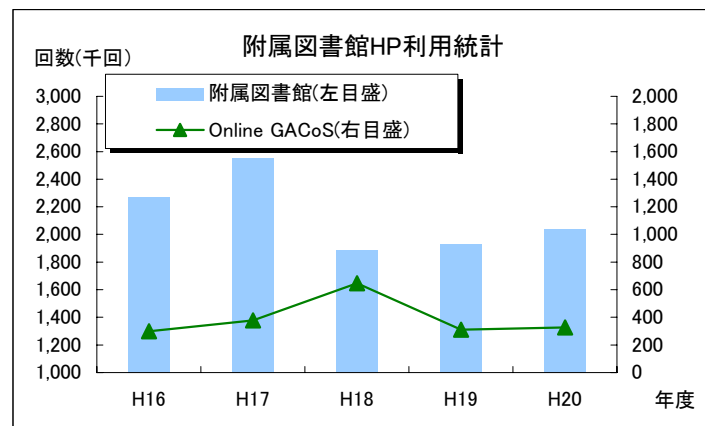
(単位: 回)



2.7 附属図書館ホームページ利用統計 (アクセス回数)

	附属図書館	Online GACoS*
平成16年度	2,271,602	299,636
平成17年度	2,550,610	378,740
平成18年度	1,885,212	645,842
平成19年度	1,926,386	310,970
平成20年度	2,038,185	325,872

(単位: 回)



* GACoS ; Gateway to Academic Contents System